



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年11月13日

上場会社名 大和冷機工業株式会社
 コード番号 6459 URL <http://www.drk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 尾崎 敦史
 (氏名) 中津留 彰伸

TEL 06-6767-8171

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	30,240	4.3	4,997	4.6	5,063	4.8	3,398	4.2
29年12月期第3四半期	28,991	1.6	4,776	△10.5	4,832	△10.5	3,261	△7.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	66.18	—
29年12月期第3四半期	63.51	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	76,439	63,457	83.0
29年12月期	71,380	60,834	85.2

(参考)自己資本 30年12月期第3四半期 63,457百万円 29年12月期 60,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
30年12月期	—	5.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,700	2.0	5,514	2.1	5,577	2.0	3,870	2.0	75.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期3Q	51,717,215 株	29年12月期	51,717,215 株
30年12月期3Q	367,374 株	29年12月期	367,064 株
30年12月期3Q	51,349,993 株	29年12月期3Q	51,350,707 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(第3四半期累計期間)	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
3. 補足情報	5
品目別売上高	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による各種政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢が改善し、景気面では回復基調が続きました。一方、米国の保護主義的経済政策に端を発した貿易摩擦の影響や相次ぐ自然災害等、わが国経済を下押しするリスクにより、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く環境は、主要取引業種である外食産業において、個人消費の底堅い動きや客単価の上昇等により全体の売上自体は前年を上回るものの、業種業態を超えた競争の激化や深刻な人手不足の影響による採用難及び人件費の上昇、原材料価格値上に伴うコストアップ等により、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社は総合厨房機器メーカーとして小型スチームコンベクションオープンや、平型オープンショーケース等、顧客ニーズに応えた製品を市場投入し、新たな需要の獲得に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間における業績につきましては、売上高30,240百万円（前年比4.3%増）、営業利益4,997百万円（前年比4.6%増）、経常利益5,063百万円（前年比4.8%増）、四半期純利益3,398百万円（前年比4.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて5,059百万円増加の76,439百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金の増加1,089百万円、長期預金の増加1,000百万円、投資有価証券の増加1,476百万円、投資その他の資産のその他の増加912百万円、棚卸資産の増加436百万円であります。

(負債)

負債は、前事業年度末と比べて2,437百万円増加の12,982百万円となりました。

この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加587百万円、退職給付引当金の増加626百万円、流動負債の引当金の増加510百万円、未払法人税等の増加246百万円であります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて2,622百万円増加の63,457百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が2,628百万円増加したためであります。これらの結果、自己資本比率は83.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月14日に発表いたしました、平成30年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,157,395	47,247,088
受取手形及び売掛金	4,106,953	4,345,886
商品及び製品	1,752,710	1,954,484
仕掛品	298,172	376,489
原材料及び貯蔵品	503,656	662,051
点検修理用部品	189,414	186,980
その他	610,435	801,631
貸倒引当金	△634	△649
流動資産合計	53,618,104	55,573,964
固定資産		
有形固定資産	9,220,202	8,968,978
無形固定資産	140,499	165,591
投資その他の資産		
投資有価証券	701,141	2,177,678
長期預金	7,000,000	8,000,000
その他	779,871	1,692,251
貸倒引当金	△79,771	△138,968
投資その他の資産合計	8,401,241	11,730,961
固定資産合計	17,761,943	20,865,531
資産合計	71,380,048	76,439,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010,803	5,598,784
未払法人税等	850,367	1,096,394
引当金	352,990	863,708
その他	2,948,077	3,385,782
流動負債合計	9,162,239	10,944,669
固定負債		
退職給付引当金	141,804	768,081
役員退職慰労引当金	1,232,091	1,260,396
その他	9,250	9,250
固定負債合計	1,383,146	2,037,728
負債合計	10,545,385	12,982,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,907,039	9,907,039
資本剰余金	9,867,880	9,867,880
利益剰余金	41,237,397	43,865,453
自己株式	△209,300	△209,692
株主資本合計	60,803,016	63,430,680
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,645	26,416
評価・換算差額等合計	31,645	26,416
純資産合計	60,834,662	63,457,097
負債純資産合計	71,380,048	76,439,495

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	28,991,818	30,240,941
売上原価	11,467,351	11,940,516
売上総利益	17,524,467	18,300,424
販売費及び一般管理費	12,748,446	13,303,206
営業利益	4,776,021	4,997,218
営業外収益		
受取利息	10,898	33,306
受取配当金	8,361	8,818
スクラップ売却益	48,450	51,033
その他	60,637	62,071
営業外収益合計	128,347	155,229
営業外費用		
スクラップ処分費	49,403	61,057
その他	22,422	28,032
営業外費用合計	71,825	89,089
経常利益	4,832,543	5,063,359
特別利益		
固定資産売却益	16,909	1,159
特別利益合計	16,909	1,159
特別損失		
固定資産除却損	296	16
投資有価証券評価損	-	15,900
特別損失合計	296	15,916
税引前四半期純利益	4,849,156	5,048,602
法人税、住民税及び事業税	1,699,378	1,820,562
法人税等調整額	△111,301	△170,266
法人税等合計	1,588,076	1,650,295
四半期純利益	3,261,080	3,398,307

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

品目別売上高

品目		当第3四半期累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)	
		金額 (千円)	前年同期比 (%)
製品	厨房用縦型冷凍冷蔵庫	9,024,402	103.6
	店舗用縦型ショーケース	4,857,072	97.8
	厨房用横型冷凍冷蔵庫	2,719,690	103.4
	製氷機	2,228,665	103.7
	その他	2,369,693	105.7
	小計	21,199,522	102.4
商品	店舗設備機器	3,577,340	119.5
	厨房設備機器	2,354,909	103.1
	店舗設備工事	124,503	119.8
	小計	6,056,753	112.6
点検・修理等		2,984,665	102.6
合計		30,240,941	104.3